Wi-Fi/VPN認証サービスをご検討の方へ

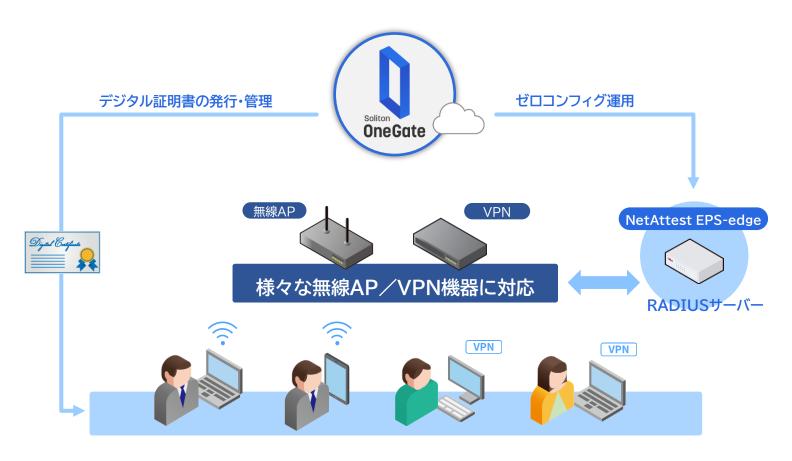
各機器の連携設定について



OneGate の Wi-Fi/VPN認証サービス

許可したデバイスだけをLANに繋げる、そんな当たり前をサービスで提供

ゼロコンフィグ運用のNetAttest EPS-edgeを設置するだけで、ネットワークセキュリティを手早く強化。 安全性と運用性の両面で優れるデジタル証明書を用いた認証で、悪意あるユーザー・不適切な端末の進入を防ぎます。





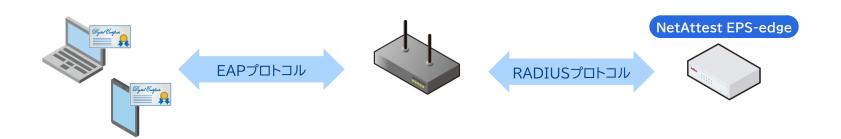
各機器の設定画面は、当社で連携検証を実施した時点のキャプチャです。 本資料に掲載されていない機器、並びに各機器の最新設定画面はFAQもあわせて参照下さい。 https://fag1.soliton.co.jp/?site domain=sog



無線LANの802.1X認証設定

無線アクセスポイント/無線コントローラで、802.1Xを使った無線LAN認証を設定しましょう。 メーカーや機器によって表現が変わる場合がありますが、基本的な設定は共通です。

設定項目	設定値	備考
認証方式	WPA2-Enterprise	機器により、WPA2-EAP、WPA2等の表現もあります
暗号化方式	AES	機器により、CCMP-AES等の表現もあります
RADIUSサーバー	EPS-edgeのIPアドレス	802.1X認証を外部RADIUSサーバーへ問合せます
ポート	1812	
シークレット	EPS-edgeのSecret値	アプライアンス管理のRADIUS設定で設定した値です
アカウンティング	OFF	EPS-edgeはアカウンティング非対応です



Wi-Fi認証 Juniper MIST の場合





Wi-Fi認証 Cisco Meraki MR の場合

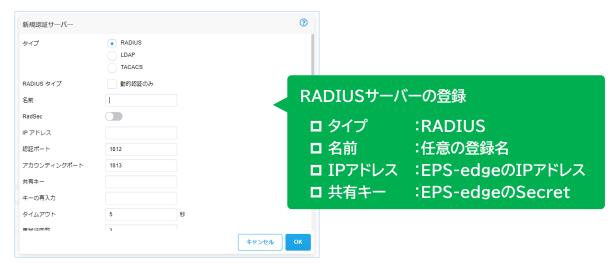






Wi-Fi認証 Aruba の場合





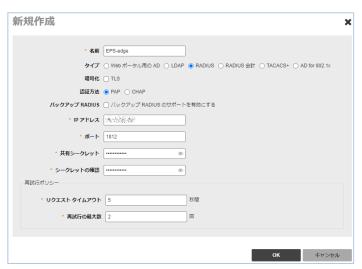


Wi-Fi認証 Ruckus の場合





□ 方式 :802.1x EAP
□ 認証サーバー:追加
□ 方式 :WPA2
□ アルゴリズム:AES
□ アカウントサーバー :無効



□ 名前 :任意の登録名 □ タイプ :RADIUS

□ 暗号化 :オフ

□ 認証方法 :PAP

□ IPアドレス :EPS-edgeのアドレス

ロポート :1812

□ 共有シークレット:EPS-edgeのSecret



Wi-Fi 認証

NEC (アクセスコントローラー/QX-W2330AC) の場合







■ Type



アクセスポイント(QX-W1240)単体での認証連携などの詳細は、FAQに掲載の設 定例をご参照ください。

● NEC QX-W1240/QX-W2330ACの無線認証連携設定例を教えてください



- □ Host :EPS-edgeのアドレス
- :1812 □ Port
- :EPS-edge@Secret □ Key

:IP address

□ State :Active

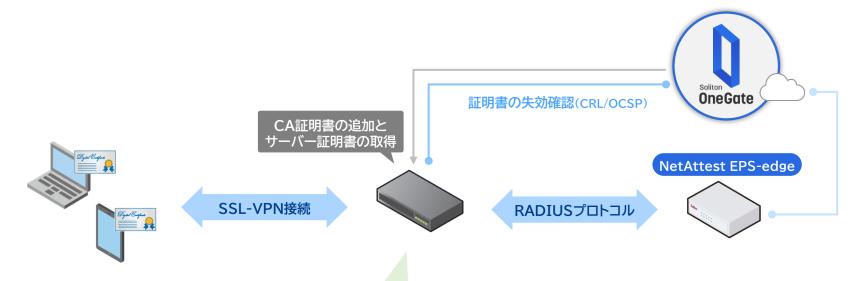


各機器の設定画面は、当社で連携検証を実施した時点のキャプチャです。 本資料に掲載されていない機器、並びに各機器の最新設定画面はFAQもあわせて参照下さい。 https://fag1.soliton.co.jp/?site domain=sog



VPNでの二要素認証の設定

VPN機器で、クライアント証明書とユーザーID・パスワードによる二要素認証の設定をしましょう。 メーカーや機器によって表現が変わる場合がありますが、基本的な設定は共通です。



① クライアント証明書認証のための設定

設定項目	設定値
CA証明書	OneGateのCA証明書をインポート
サーバー証明書	OneGateでサーバー証明書発行も可能(本書では省略)
CRL	CRL配布ポイントURL(CRLのDLによる失効確認)
OCSP	OCSP URL(OCSP URLにアクセスして失効確認)

② RADIUS認証のための設定

設定項目	設定値
認証プロトコル	PAP
RADIUSサーバー	EPS-edgeのIPアドレス
ポート	1812
シークレット	EPS-edgeのSecret値

本書ではSSL-VPN方式で、NetAttest EPS-edgeを利用した場合を中心に、主な設定例を抜粋でご紹介しています。詳細な設定方法や、EPS-edgeを利用せず、OneGateをIdPとするSAML認証連携での設定例などは、FAQに設定例を掲載していますのでそちらをご参照ください。



共通) CA証明書のダウンロード







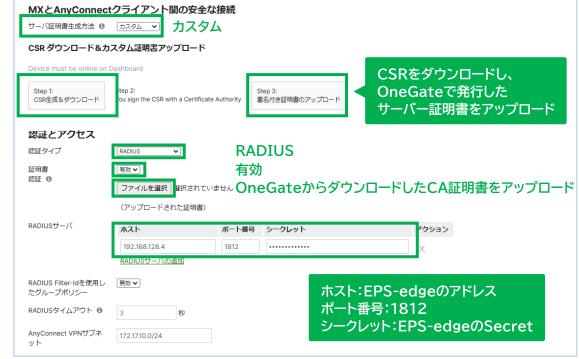
CA証明書がダウンロードできます



Cisco Meraki MX ~ RADIUS認証設定



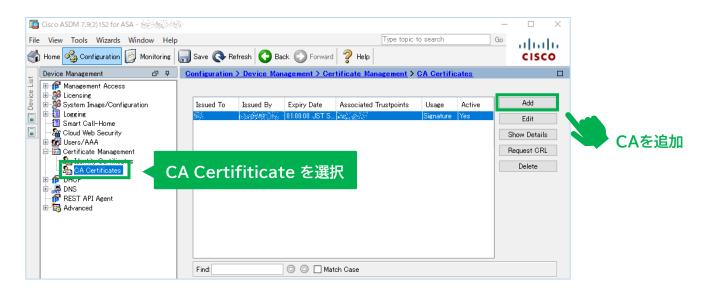


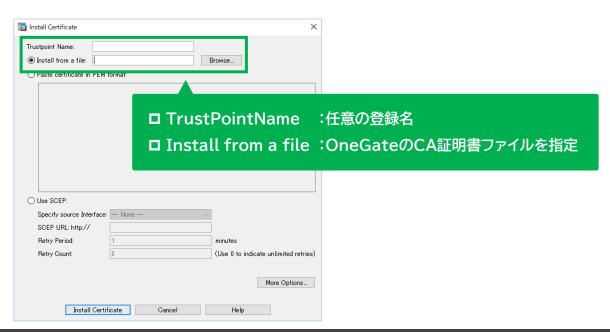






Cisco ASA ~ クライアント証明書認証の設定(1)

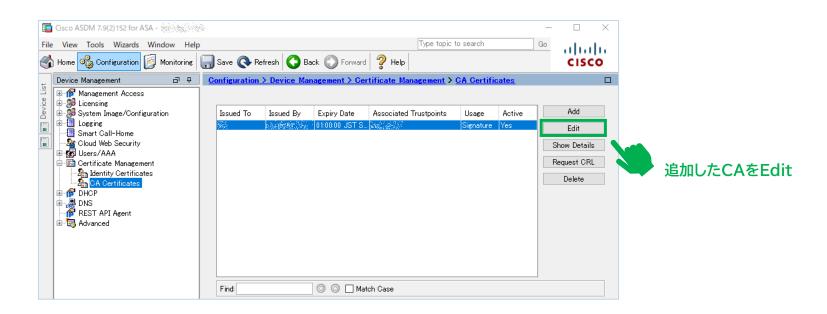


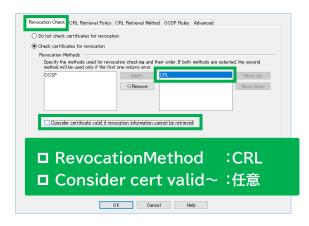


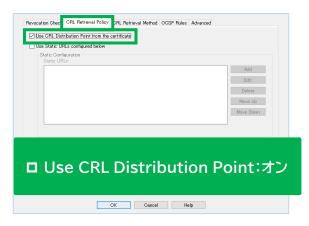


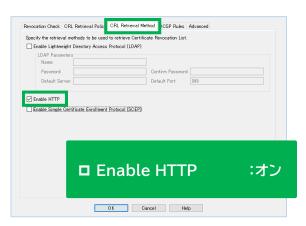


Cisco ASA ~ クライアント証明書認証の設定(2)







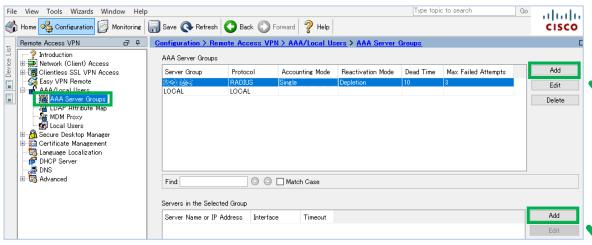


※CRL方式での動作を確認しています。





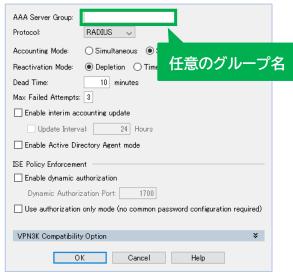
Cisco ASA ~ RADIUS認証の設定(1)



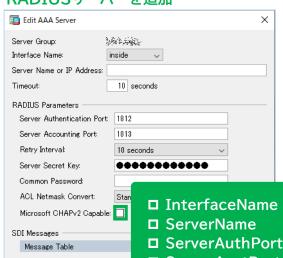


RADIUSサーバーの作成 (右下へ)

AAA Server Groupsを追加



RADIUSサーバーを追加



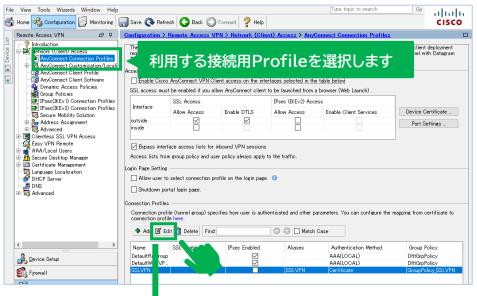
- □ InterfaceName :EPS-edgeに接続可能なIF
 - :EPS-edgeのアドレス
- ☐ ServerAuthPort :1812
- □ ServerAcctPort :1813 (実際は使用しません)
- ServerSecretKey :EPS-edgeのSecret
- MS Chapv2 :オフ



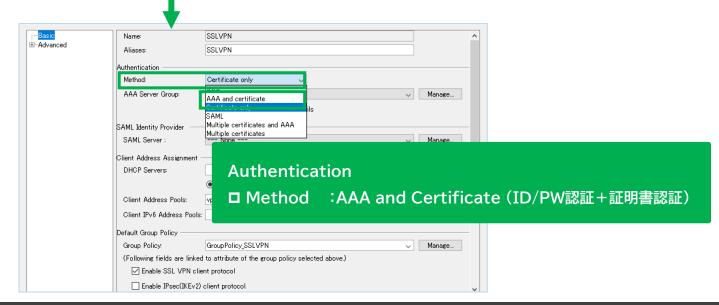
ΟK



Cisco ASA ~ RADIUS認証の設定(2)



ConnectionProfileを編集(下へ)







FortiGate ~ クライアント証明書認証の設定(1)





□ CLIからOCSPを有効化します。

```
FortiGate-VMX (root) # config vpn certificate setting

FortiGate-VMX (setting) # set ocsp-status enable

FortiGate-VMX (setting) # set ocsp-option server

FortiGate-VMX (setting) # end
```

※OCSP方式の場合です。CRL取得方式の場合は、FortiOS6.4.0以上を利用して下さい。

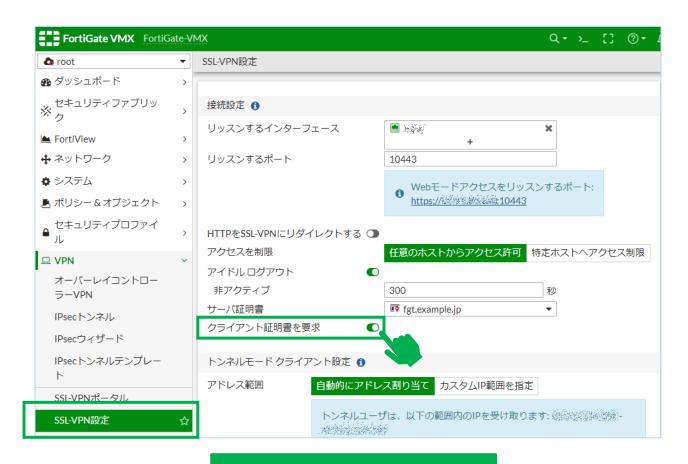
ここでは、NetAttest EPS-edgeを利用したRADIUS認証の設定例を抜粋してご紹介しています。詳細な設定方法や、EPS-edgeを利用せず、OneGateをIdPとするSAML認証連携での設定例は、FAQに設定例を掲載していますのでそちらをご参照ください。

- フォーティネット FortiGateとのVPN認証連携設定例を教えてください(RADIUS認証)
- FortiGateのシングルサインオン設定例を教えてください(SAML認証)





VPN認証 FortiGate ~ クライアント証明書認証の設定(2)

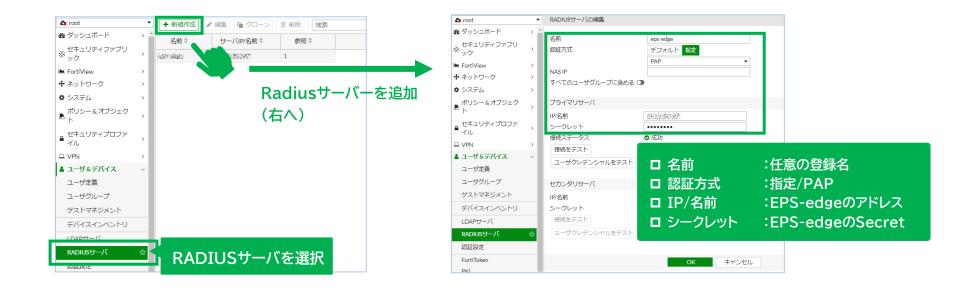


□ クライアント証明書を要求 :オン

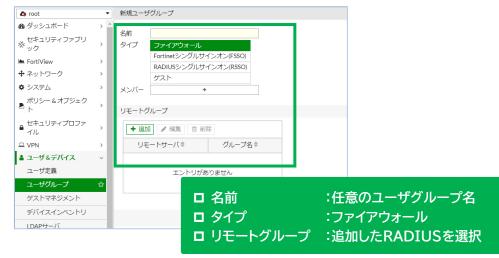


VPN 認証

FortiGate ~ RADIUS認証の設定(1)







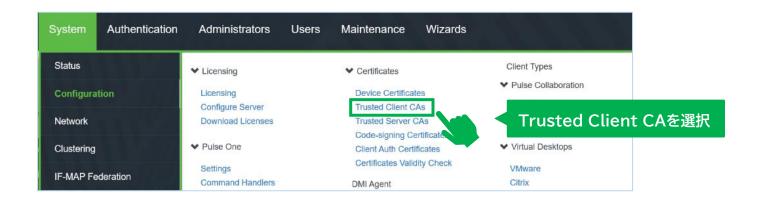


▼PN認証 FortiGate ~ RADIUS認証の設定(2)

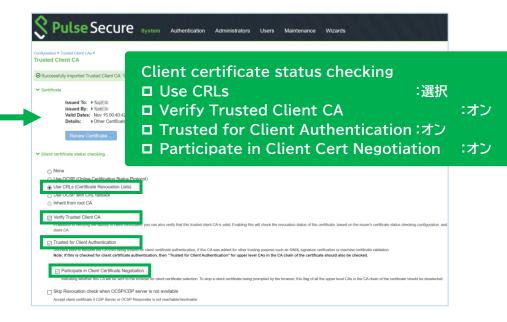




VPN認証 Pulse Secure ~ クライアント証明書認証の設定(1)







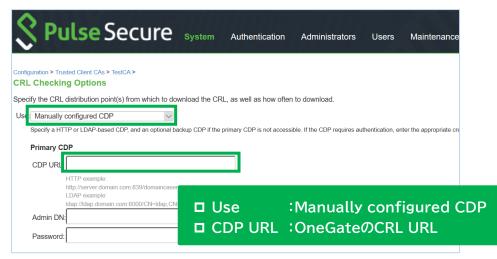




VPN 認証 Pulse Secure ~ クライアント証明書認証の設定(2)

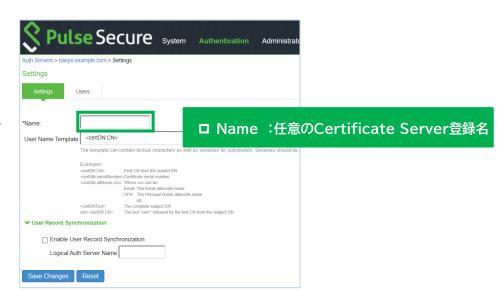
CRL Checking Option





Authentication - Aut.Servers

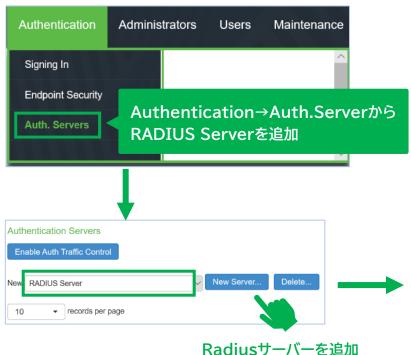








VPN認証 Pulse Secure ~ RADIUS認証の設定(1)

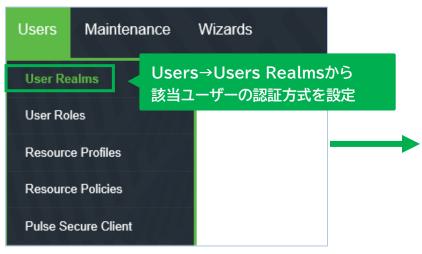


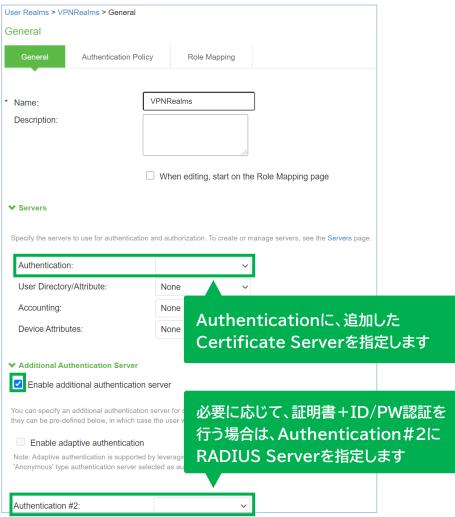
Radiusサーバーを追加 (右へ)

Auth Servers > EPS-edge TEST > Settings				
Settings				
Settings				
*Name:	EPS-edge	Label to reference this server.		
NAS-Identifier:	Pulse Secure Appliance	Name of the device as known to RADIUS server		
▼ Primary Server				
*RADIUS Serv	/er:	Name or IP address		
*Authentication	n Port: 1812			
*Shared Secre	et:			
*Accounting P	ort: 1813	Port used for RADIUS accounting, if applicable		
NAS IPv4/IPv	6 Address:	IPv4/IPv6 address		
*Timeout: *Retries:	30 seconds			
□ Users authon Note: If you se and this creder □ Name :任意の登録名 □ RADIUS Server :EPS-edgeのアドレス □ AuthenticationPort :1812 □ AccountingPort :1813 □ SharedSecret :EPS-edgeのSecret				



Pulse Secure ~ RADIUS認証の設定(2)

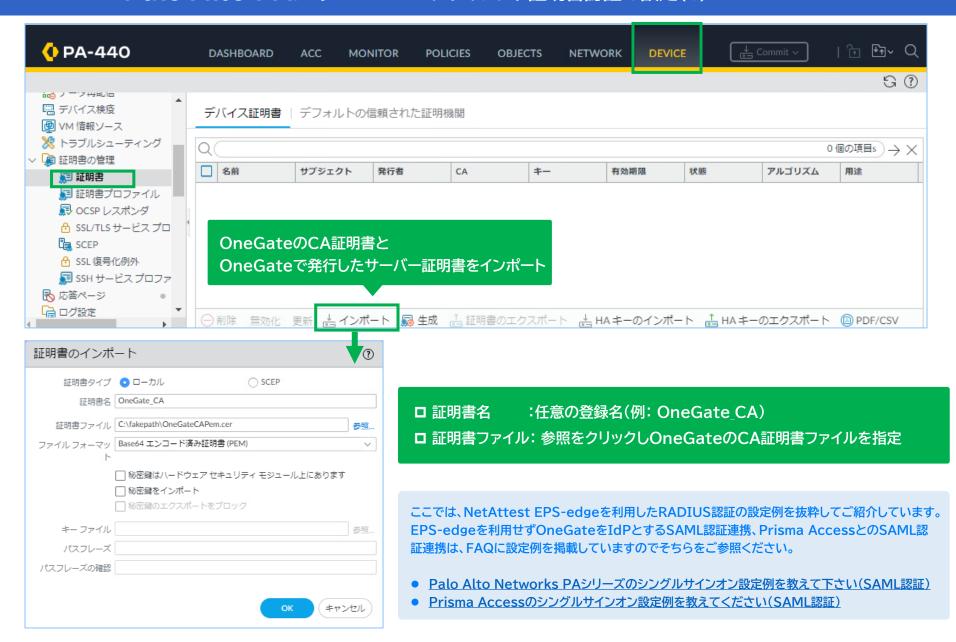






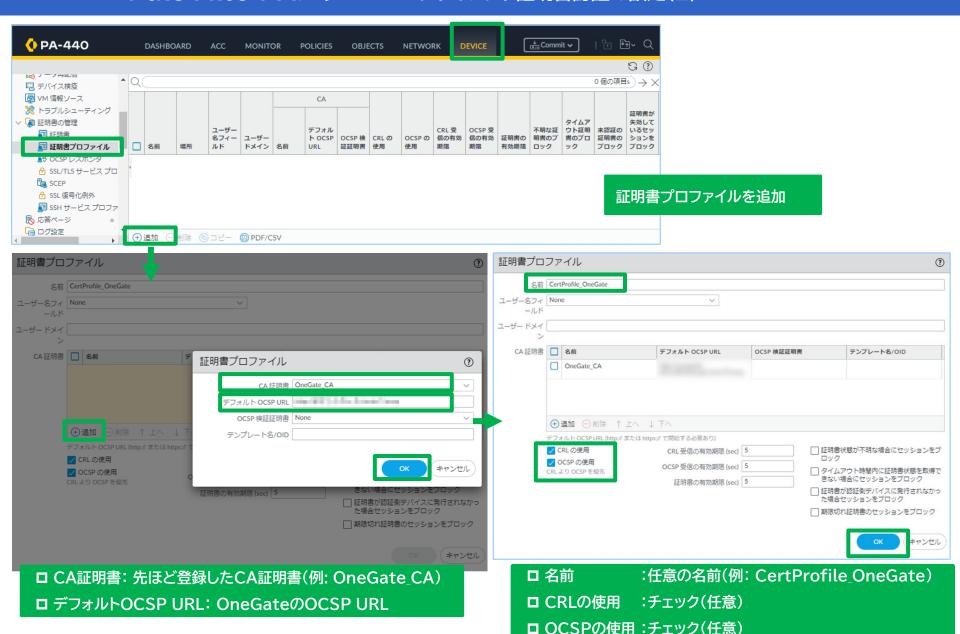


Palo Alto PAシリーズ ~ クライアント証明書認証の設定(1)



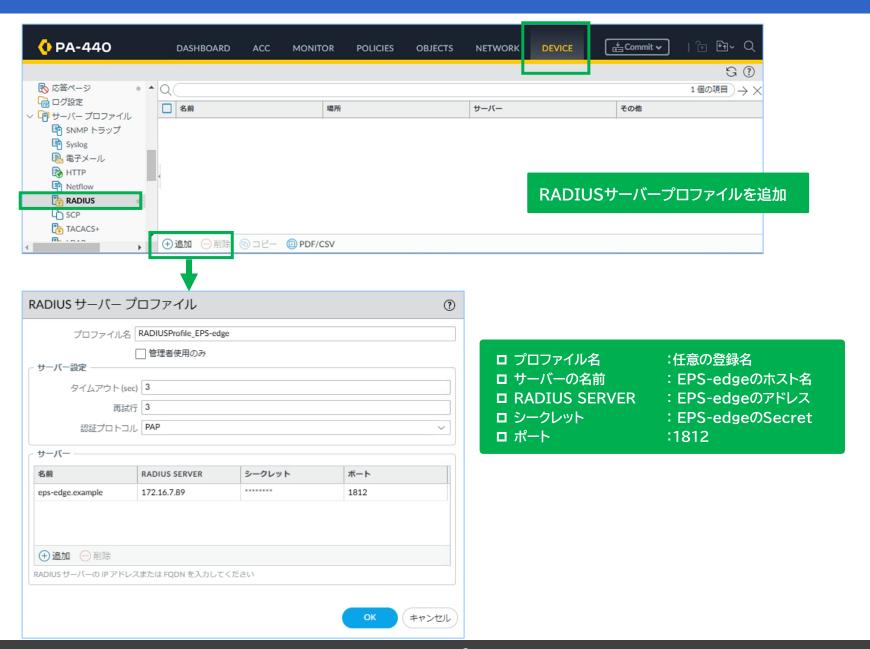
VPN 認証

Palo Alto PAシリーズ ~ クライアント証明書認証の設定(2)



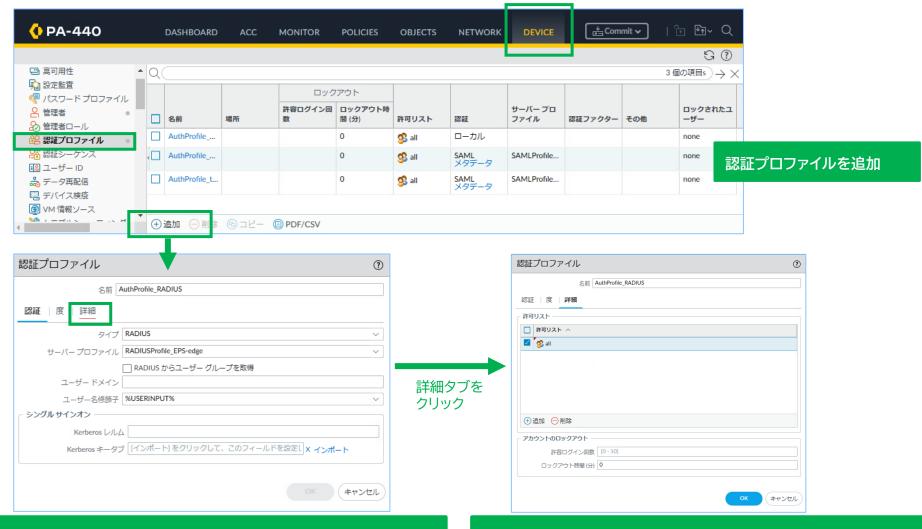


VPN認証 Palo Alto PAシリーズ ~ RADIUS認証の設定(1)





Palo Alto PAシリーズ ~ RADIUS認証の設定(2)



ロ プロファイル名 :任意の登録名

□ サーバープロファイル : 先ほど設定したEPS-edgeのプロファイル

許可リストの追加をクリックし、対象リストを設定してOKをクリック (この認証方式を利用するリストとなります。環境に合わせて設定します。)

※ここで作成したRADIUS認証プロファイルをGlobal Protectポータルにて設定します。





資料のダウンロード、トライアル申込は

ソリトンワンゲート

検索

各機器の設定画面は、当社で連携検証を実施した時点のキャプチャです。 本資料に掲載されていない機器、並びに各機器の最新設定画面はFAQもあわせて参照下さい。 https://fag1.soliton.co.jp/?site domain=sog

